



同時発表：利尻富士町、利尻町

令和6年2月8日
稚内開発建設部

利尻島沿岸のリシリコンブ養殖による CO₂吸収量を53.9t-CO₂/年と推計

北海道開発局は、利尻富士町、利尻町及び利尻漁業協同組合と連携し、利尻島沿岸全域におけるリシリコンブ養殖によるブルーカーボン生態系のCO₂吸収量は53.9t-CO₂/年と推計できました。

また、CO₂吸収量の算出については、養殖ロープ1m当たりのコンブ重量の計測と養殖ロープ延長から試算する簡易な方法として実施・整理できており、今後のブルーカーボンの取組みの拡大が期待されます。

今回、2年生のリシリコンブの養殖工程に合わせたCO₂吸収量の推計方法を検討しました。コンブの成長に応じて最適な調査時期を選定し、1年目の種コンブ養殖ロープと2年目の成コンブの養殖ロープ、それぞれにおいて1m当たりのコンブ重量を計測しました。その計測結果からCO₂吸収係数(t-CO₂/m/年)を算出し、養殖ロープ長(m)を乗じることによりCO₂吸収量を推計しています。

なお、ブルーカーボン生態系によるCO₂吸収量53.9t-CO₂/年を、森林の単位面積当たりのCO₂吸収量*で面積換算すると単純計算で23.4haの森林面積に相当します。

吸収量の算出の詳細については別添資料をご覧ください。

※「日本国温室効果ガスインベントリ報告書2023年」を参考に、2021年度の森林面積とCO₂吸収量から単位面積当たりのCO₂吸収量を推計し、今回のCO₂吸収量(53.9t-CO₂)を森林面積に換算。

【問合せ先】

(ブルーカーボンによるCO₂吸収量調査・推計方法)

国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部 築港課 電話 0162-33-1055
課長 阿部寿、上席築港専門官 伊藤卓也
稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

(ブルーカーボンの取組みの今後の展開)

利尻富士町 産業振興課 電話 0163-82-1350
課長 関光徳、水産港政係長 入井飛鳥
利尻富士町ホームページ <http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>
利尻町 産業課 電話 0163-84-2345
課長 鎌田正吾、水産港政係長 新濱直樹
利尻町ホームページ <http://www.town.rishiri.hokkaido.jp/rishiri/>

